

# 第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成22年9月2日（木）4校時

場 所 葛巻町立江刈中学校 2年A組教室

学 級 2年A組（男11名 女4名 計15名）

指導者 教諭 菊池 文彦

1 単元名 人間のきずな「盆土産」（光村図書 国語2）

2 単元について

（1）教材について

中学校学習指導要領国語（平成20年）第2学年の「C 読むこと」の指導事項イに、「文章全体と部分との関係、例示や描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てること」とある。

その中の特に「登場人物の言動の意味」をとらえることをねらいとして、本単元を設定した。

第1学年の指導事項「エ 文章の展開を確かめながら主題を考えたり、要旨をとらえたりすること」を受け、第2、3学年の「エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」につなげていきたい。

本教材「盆土産」は、「家族」をテーマにした作品である。出稼ぎから帰省した父親が、えびフライを持ち帰る。その「えびフライ」を巡る出来事を軸に、家族が心を寄せ合って暮らす姿が、暖かく描かれている。生徒にとって、親しみやすい作品となっている。また、登場人物の言動も明確で読みやすく、テーマもわかりやすいために、登場人物の言動の意味の根拠を明確にして考えさせるのに適切な教材である。

（2）生徒について

昨年度実施された岩手県学力定着度調査の国語科の結果から、「話し合いの内容の聞きとり」に関しては、本校は期待正答率を大きく上回っている。このことから、他人の話聞く姿勢はできており、話し合いの活動場面でも「聞く」ことに関して問題はない。ただし、表現することに関して、自分の考えをまとめ、伝える力には物足りなさを感じる。

また「文学作品の内容の読みとり」については、本校は期待正答率をやや上回っているが個人差が大きい。このことから、「登場人物の言動の意味」と「自分の考えをまとめる力」について根拠を持って考え、伝えることを指導していきたい。

（3）指導にあたって

本単元では、生徒の「登場人物の心情把握」における課題を踏まえ、登場人物の言動の意味を考える力を付けることをねらいとしているために、学習活動を次の流れで指導していく。

- ① 全文通読し、語句の意味・新出漢字の確認をする。
- ② 作品のテーマを考える。
- ③ 登場人物の言動が作品のテーマにどのように関わっているか、本文に即して考える。
- ④ 話し合いにより、自分の考えを吟味する。
- ⑤ 個人でもう一度考えを深める。

生徒の主体的、積極的な言語活動を通して、学習の仕方をきちんと定着させていきたいと考える。

本文に即した根拠を基に登場人物の言動の意味を考えさせ、話し合いの中で、自分の考えを再構築させながら、新たな読み取りや着目する言葉の違いに気づき、作品をいろいろな面からとらえたい。

### 3 単元の指導計画と評価計画

#### (1) 単元の目標

- ① 作品の内容やテーマについて、本文に即して読み取ったり、話し合ったりしようとする。 【関心・意欲・態度】
- ② 登場人物の言動が、作品のテーマにどのように関わっているかを本文に即して考えることができる。 【C 読むこと イ】
- ③ 事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めることができる。 【言語事項】

#### (2) 単元の評価規準

【関心】	作品の内容やテーマについて、本文に即して、読み取ったり、話し合ったりしようとしている。
【読む】	登場人物の言葉や行動が、作品のテーマにどのように関わっているのかを、本文に即して考えている。
【言語】	語句の意味を理解して作品を味わうとともに、場面にふさわしい言葉遣いを理解している。

#### (3) 指導計画（評価計画含む）

時	主な学習活動	評価規準		
		関心・意欲・態度	読むこと	言語事項
1	・ 作品を全文通読し、語句の意味を確認する。 ・ 作品のあらすじを確認する。	本文に即して、作品の内容を読み取ろうとしている。		文章中の語句の意味、新出漢字について理解している。
2	作品を通読し、作品のテーマ・中心となる語句について考える。	本文に即して、作品のテーマを読み取ろうとしている。		
3	「えびフライ」という言葉を中心に、登場人物の言動・心情が、どのように作品のテーマに関わっているかを本文に即して考える。		描写をもとに、登場人物の心情の変化を読み取っている。	行動の描写の特徴をとらえている。
4	・ 話し合いを行い、グループで考えをまとめる。 ・ 各グループの考えをもとに学級で話し合いをする。		根拠を明確にし、登場人物の心情の変化を読み取っている。	
5 本 時	・ 「祖母」の「えびフライ」という言葉に込められた気持ちを考える。 ・ グループで伝え合い、比較しながら、再考させる。 ・ 学級で伝え合いをする。		・ 根拠を明確にし、祖母の言葉や行動が、作品のテーマにどのように関わっているかを考え、話し合っている。	
6	少年の言った「えんぴフライ」に込められた気持ちを考える。		・ 根拠を明確にし、少年の言葉や行動が、作品のテーマにどのように関わっているかを考えている。	
7	単元テスト	既習事項を用いて、問題を解決しようとしている。	登場人物の言動が、作品のテーマにどのように関わっているかを理解している。	・ 文章の構成、展開の特徴について理解している。 ・ 文章中で使われている語句、新出漢字について理解している。

#### 4 本時の学習

##### (1) 目標

祖母の言った「えんぴフライ」という言葉が、どのように作品のテーマにかかわっているかを、根拠を明確にして、考えることができる。

##### (2) 具体の評価規準

	A：十分理解できる	B：概ね満足できる	C：「努力を要する」と判断された生徒への具体的な対応・手立て
読むこと	根拠を明確にし、祖母の言葉や行動が、作品のテーマにどのように関わっているかを考え、話し合い、自分の言葉でまとめている。	根拠を明確にし、祖母の言葉や行動が、作品のテーマにどのように関わっているかを考え、話し合っている。	文章中から、根拠となる部分を見つけることができるように支援する。

##### (3) 「学び合い」の3つの要素の取り入れについて

###### ① 作業的な学習

祖母の心情が表れている部分を教科書から抜き出させる。この抜き出した部分を根拠に祖母がどのような想いで、どのような内容を、墓に報告しているのかを作品のテーマとの関わりを持って個人で考えさせたい。

また他の登場人物のそれぞれの想いを振り返らせることで、根拠をより明確にさせていきたい。

###### ② 小グループでの話し合い

一つの答えに絞り込むような話し合いではなく、多様な考えを出し合える話し合いを設定し、自分の言葉で書いたものを読み合い、自分の書いたものと他者との違いを比較させる。

そして、作品のテーマに関わって、どのようなことを報告したのか、自分の言葉でさらによい表現になるように再考させたい。

###### ③ 表現の共有と交流

学習課題の解決にあたり、小グループでの伝え合いの上で個人の考えが深まり、さらに全体での意見交流の様々な考えから、作品のテーマ「家族の愛」「家族のきずな」「人間のきずな」に関わる祖母の想いを明確にしていきたい。

(4) 展開

展開	学習内容		指導上の留意点	評価規準（評価方法）
導入 5分	1 前時の <u>内容</u> の確認 2 本時の課題の確認		1 家族の中で祖母がどのような存在なのかを思い出させる。 2 本時の課題を確認する。	
祖母は、お墓にどのようなことを報告したのだろうか？				
展開 40分	3 家族が食卓を囲んでいる場面で、登場人物の思いが読み取れる様子・行動を抜き出す。	作	3 家族の様子・行動から、心情が読み取れる部分を抜き出させる。	<p>活用させたい知識・技能</p> <p>祖母の様子・行動・家族との関わりから、心情を理解し、自分の考えをまとめること。</p> <p>【読】根拠を明確にし、祖母の言葉や行動が、作品のテーマにどのように関わっているかを考え、話し合っている。 (ワークシート、観察)</p>
	4 抜き出した様子・行動にどのような心情が込められているか考え、発表する。	表	4 (1) 抜き出した様子・行動にどのような心情が込められているかを自分の言葉で書かせる。 (2) 全体の前で発表させる。	
	5 祖母がお墓にどんなことを報告したのか考える。 (1) 祖母がお墓にどのように報告したのかを自分の言葉で書く。	作	5 (1) 根拠を明確にし、祖母の報告した内容を考えさせる。	
	(2) グループ内で自分の書いた内容を伝え合う。 (3) 他者との比較から、より良い内容になるように再考する。	グ	(2) 根拠を明確にして、自分の考えを伝え合わせる。 (3) グループ内でそれぞれの良かった部分を話し合い、それを参考に再考させる。	
6 学級内で発表する。	表	6 グループ内で良いと思った内容を推薦させ、発表させる。		
終末 5分	7 本時のまとめ		7 作品のテーマにそって考えること、考えの基になる根拠の見つけ方などについて振り返る。	

作・・・作業的な学習

グ・・・小グループでの話し合い

表・・・表現の共有と交流